

優秀賞



設計担当者

花岡郁哉

(株)竹中工務店 東京本店 設計部
東京建築士会

事務所・物販店舗／東京都港区

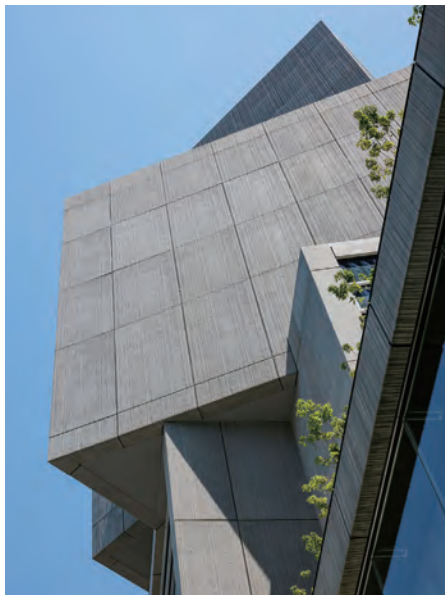
CORNES HOUSE

構造 | 鉄骨造
一部鉄骨鉄筋コンクリート造
階数 | 地上11階・地下2階・
屋上2階

敷地面積 | 1,436.75㎡
建築面積 | 1,074.38㎡
延べ面積 | 8,648.46㎡
竣工年 | 令和5年



1



2



3

- 1 南側外観。前面道路に面して2つの車のショールームを計画
- 2 西側外観見上げ。環境に応じて多様な表情を見せる積層ボリューム
- 3 6階オフィス。北側の芝公園に開く執務室
- 4 首都高速道路に表出するショールーム外観。ショールームを構える2つのブランドが、それぞれ独立して顔出しできるようにするため、首都高速道路の外回り・内回りに向かって展示キューブ・展示テラスを計画。道路走行者の目線に合った展示スペースとなるよう、階高を調整し、正確なレベル設定を行っている
- 5 3階テラス。首都高速道路と同じレベルに設けた展示テラス
- 6 西側外観。外装にうつる樹木のゆらぎ



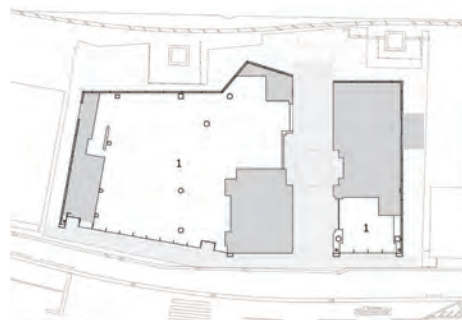
8階平面図



5階平面図



3階平面図



1階平面図

1 ショールーム 2 テラス 3 オフィス

選評

この建築は、複数の高級外車ショールーム、修理工場、オフィスといった多機能を同時に備え、首都高速道路が大きく湾曲する特殊な立地条件を最大限に活かしたデザインが特徴である。

ボックスをランダムに積み上げたような外観は、審査書類の中でもひととき目立っていたが、実際にこの建物を訪れた際に受けた印象は、意外にも控え目なものであった。とはいえそれは

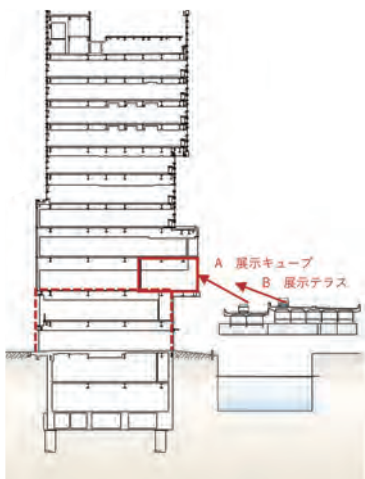
必ずしもネガティブなものではなく、ブルータリズムを彷彿とさせる構成美やファサードに刻まれた粗いテクスチャは、それだけでも完成度の高い作品であると感じさせるものであった。

ところがこのストリート側の外観は、この後に見えてくる大胆な構成美を盛り立てる控えめなプロローグであった。建物のエントランスホールとは逆側、首都高速道路側へと案内されると、ボックスを積み上げた特徴的な外観が姿を現

す。隣接する芝公園からもこの外観は望むことができるが、建築家は建物を眺める最適な視点を首都高速道路上に絞り込み、デザインを行ったようである。この建築の根幹をなす複数の高級外車ショールームは、なんと首都高速道路から最もよく見える位置に配置されている。この建物は、高速道路からの視点を意識した独特なショールーム複合体としてデザインされているのである。



4



断面図



5



6

「高速道路を高速で走る車から、本当にショールームや展示された自動車が見えるのだろうか?」と疑問を持たれる方もいるかもしれないが、私自身、実際に車で走って観察してみた。実は、高速道路線形が敷地周辺を屈曲点として湾曲しているため、首都高速道路のレベルに持ち上げられたショールームや角度を変えつつ積み上げられたボックス状の外観は非常に良く見え、インパクトのある存在感を放っていた。

大胆な構成は一步間違えるとアイコニックなだけの建築に留まりかねないが、ここではプログラムへの合致とブルータルな素材感や構成により、質の高い建築作品となっていた。加えて言えば、昨今の建設コストの増大している状況の中で、この建物は多くの工夫によりバランスの取れたコストの掛け方で仕上げられていることも好感を持った。あえて邪推をすれば、分割され角度を変えて積み重ねられたボ

リュームを活かして、内部空間に縦方向のつながりや流動性を取り入れたならば、さらに印象的な建築になったのではないかと感じた。

以上の通り、本作品は優秀賞にふさわしい完成度の高い建築であった。(山梨知彦)